



レディース専門店運営のノウハウを生かす

店のマ
専門ヤ
専ハ

什器リサイクル、 リースの新会社

レディース専門店のハママ（長野県松本市）は、ウェブを活用して店舗什器をリサイクルする会社、テナントリース（羽山輝彦社長）を立ち上げた。

スタートするのは、中古の什器を売却して低コストで店内の原状回復をしたい閉店事業者と、安価で什器を入手したい出店希望者を結ぶビジネス。この事業と並行してテナントリースは店舗仲介業を行う。

テナントリースは専門店の撤退業者からマネキンや棚など

の中古什器を買い取り、それらを新規出店業者に販売する。33平方メートルの什器一式を10万円からセット販売する予定。レンタル対応も行い、33平方メートルで月1万円からのリース料金を設定する。

松本市内を中心にレディース専門店を運営するノウハウを生かし、「店舗レイアウトのアドバイザー」や、什器設定のプランニングにも応じる。セット対応だけでなく購入者が希望する什器のみの販売も行う」（羽山社長）

SENKEN

2015年
(平成27年)

10月28日
水曜日

織研新聞社

織
研
新
聞

としている。売買形態は、売却を希望する業者がデジタルカメラで撮影した什器の画像をテナントリースにメール送信し、買い取り額を査定するシステム。一方、什器購買を希望する業者は同社にウェブを通じて申

し込む。対象とする地域は「買い取りは関東から関西まで。販売は全国対応する」。

また、同社はSOC向けのテナントリーシングや、新規出店業者に向けた店舗仲介業も行う。内装や什器付きの店舗条件で新規入居者を募りたいSOCのニーズに応えるものだ。「撤退店舗の什器はこれまででは廃棄処分されてきたが、再利用することで環境問題にも貢献できる」としている。